（第三種郵便物認可　大正十四年十一月廿日）

立教大學新聞

月刊每月拾五日發行
編輯印刷兼發行人　矢澤賢一
發行所　東京池袋　立教大學新聞學會
電話大塚四〇四　振替東京七八三三
定價一部金五錢
一年分金六拾錢
廣告一行金二圓五十錢
場所指定二割增

マスタ・オブ・ローズ　宮本桂仙著　―新發賣!!

和英雙解獨逸語發音辭典

英語式發音・萬國音標・片假名を併記せる發音辭典出現す！

■袖珍型・本綴・五百頁・正價壹圓五拾錢・送料八錢

著者は本書卷頭に序して曰く「我邦に於ける獨逸語の地位は第二外國語として相當重きをなし殊に醫學界に於ては重要視せられてゐる。然るに其學習には意味の解釋のみを目的とするものの如く、其發音に至つては殆んど顧みられなかつた觀がある。其結果發音は支離滅裂の狀態に放置されてゐたが、最近數年間獨逸との交渉が各方面に激增するに伴ひ、發音の重要性が認識せられしものと見え發音附獨和辭典も二三現はるるに至つたが、今日迄の辭書は片假名か萬國音標か孰れか一音標のみで發音が附いてゐる。然るに片假名のみで獨逸語の發音を表はす事は殆んど不可能である。又萬國音標を正確に記憶する事も容易ではない。之に反して英語の發音は我邦の學生には容易であるから、英語流の發音符號を附すれば、片假名よりも萬國音標文字よりも（我が學生には）容易に又正確に發音の學習が出來る。此最も必要なりと思はるる英語式發音と共に、萬國音標と片假名とを併記して三種の發音符號を附けたならば、稍々正確に獨逸語の發音が習得され得べしと私は信ずるものである。故に此缺陷を充たさんため僭越ながら本書の編纂に着手したる次第である」云々。

本書が如何に確實なる發音字典にして初學者に便益を與ふるかは其序文に徵して明なり、敢て一本を全獨逸語學習者諸子の座右に薦む

東京市本郷區龍岡町
振替東京六三三八番
電話小石川四七五七番
南山堂書店

京城日報社理事・東京支社長　佐藤巖著

新聞遍路

裝幀　細木原青起氏
定價八拾錢・送料六錢

最新刊

題字　宇垣一成氏
序文　千葉龜雄氏
序文　波多梅巖氏
序文　松崎天民氏
序文　小野賢一郎氏

各新聞社入社試驗の虎の卷!!

時代の先驅、新聞を讀んで生活する吾人は、更に新聞及新聞人を知るを要するは言ふ迄もない。

○本書は新聞記者、新聞經營者として、廿五ヶ年終始一貫偉大なる記錄を殘しつゝ、而かも斯界に令名を博しつゝ今日の譽ある位置に到達し更に將來に勇飛せんとする著者を物語るもので行文流麗裡に生々した朗らかな內容百三十、感激、努力、反省、奮起、史話、實話、爆笑、等近來の快著として、生きた修養讀本新聞記者の虎の卷として、ジャーナリストの活顧問として敢て大方に推奬する所以である

池田秀雄
平井三男
朝鮮讀本　定價壹圓參拾錢　送料八錢

丸山鶴吉
在鮮四年有餘半　定價壹圓七拾錢　送料貳拾錢

稻葉君山
朝鮮の姓の由來　定價四拾五錢　送料貳錢

發兌　松山房
東京・神田・裏神保町（電話神田（二三）四一番）
振替東京六八四〇六番

東京帝國大學宗教學研究室
宗教研究編輯部編

宗教研究

新第九卷第一號
定價一圓　送六錢
年六回隔月發行

論說―キリシタン宗教文學中の殉教文書（姉崎正治）・圓頓戒源流論（久野芳隆）・ユダヤ教徒パウロ（三枝義夫）

資料―スピノザの宿命觀に就て（齋藤晌）・我國に於ける宗教と社會事業との關係（谷山惠林）・梵學輪番行智を憶ふ（中里龍雄）・教會法學研究序說（伊藤道學）

傾向―宗教經驗の心理現象（上野隆誠）・「日本神話の研究」を讀む（松村武雄）・支那に於けるキリスト教排斥運動（甘粕石介）・佛教の社會性に關する一思考（西義雄）

新刊紹介―彙報

會員募集　會費五圓

發行所　東京・神田・通神保町一・振替口座東京一三五　大阪・西區・阿波座下通・振替大阪二一二一八　株式會社同文館

關口存男主筆

初級　ドイツ語

二月號發賣

●文法講座　動詞の三要形
●ドイツ語初步讀本
●宇宙は無限に非ず
●學經界の革命？
●作文漫談　人間到る處青山あり
●論文研究　Friedrich Hegel
其の他時事問題・詩・笑話發音講座、文法等々

―・―

愈々充實した內容と本月號よりのこの躍進振を見よ!!

內容四五頁
定價二十錢
送料一錢

東京・神田・神保町　尚文堂發行　電話九段　振替東京　一九三四　一七五四

◇唯物史觀の二大新著出づ◇

宗教及び信仰の起源

ハインリツヒ・クノー著・玉城肇譯　菊版布裝函入三百頁　價一、八〇　送料一四

本書は、ブハリンも云つてゐるやうに、唯物史觀的見地から書かれた宗教發達史の唯一のものである。諸民族の宗教及び信仰の觀念が如何なる起源に據つて發展して來たか、亦、諸代の哲學が如何にこれを解說してゐるかを、人類學の權威クノーがその廣範に亘る研究から批判檢討し、以て宗教の社會的根據を詳細に論證したものである。當面、既成宗教に對する批判が盛んに行はれて居る時、本書の譯されたることもあながち意義なきことではないであらう。

支那古代社會史論

郭沫若著・藤枝丈夫譯　菊版布裝函入五百頁　價三、三〇　送料一六

現支那に於ける眞の青年學徒であり同時に支那左翼運動の闘士たる著者は、ここに眞實の支那歷史を語つた。氏は從來の唯心論的傳統を破つて、完全なるモルガン・エンゲルス的立場から秘められたる殷紀の資料を縦横に驅使して、本書を著はしたのである。古來日本と密接不離の關係を有する支那の偽らざる歷史を知ることは、正しく支那を理解する最重要の鍵であると同時に、また、日本の歷史を理解する上に於て深甚なる暗示となり且つ良き手引となるであらう。

東京麴町區飯田町六丁目
振替東京七六八四九
電話九段三六六二
株式會社　內外社
圖書目錄進呈

大倉高商教授　渡部寅二著

貸借對照表の作成と吟味

定價一・五〇　送料〇・一二

第一章　貸借對照表は何を語る
第二章　貸借對照表の性質と形式
第三章　資產の分類
第四章　負債及び資本
第五章　吟味に就いての注意
第六章　分析の目標
第七章　比率法（一）
第八章　標準比率
第九章　比率法（二）
第十章　比率法（三）
第十一章　趨勢法
第十二章　指數法
第十三章　損益計算書の分析
第十四章　貸借對照表の作成
第十五章　標準貸借對照表
第十六章　アメリカに於ける標準貸借對照表
第十七章　結語

東京神田表神保町四
電話神田二四一一
振替東京五五六八四
雄風館書房

日本聖公會十名士執筆

最新刊

聖公會手帳

菊半截美裝　定價五十錢

公會信徒の常識書！教師の參考書！受洗者受者の好記念品！公會全員の必携書！

內容目次

一、基督と日本……大阪教區監督、神學博士　名出保太郎
二、聖書に就いて……名古屋聖ヨハネ教會牧師　河合堯三
三、日々の糧……聖公會神學院教授　村尾昇一
同右　佐々木鎮次
四、教會史小觀……同右　山國雄杜三
五、世界に於ける聖公會……南東京地方部監督神學博士　サムエル・ヘーズレット
六、日本聖公會の話……東京教區監督、神學博士　松井米太郎
七、日本聖公會社會教育事業……基督教週報記者　織間小太郎
八、聖公會祈禱書は如何にして使ふか……神戶聖ミカエル教會牧師　八代斌助
九、我が爲すべき事は何か……聖公會新生館長　マレー・ウオルトン
十、日本聖公會所在地（約三百の教會名及所在地明細表）
十一、聖公會員參考記錄欄（誕生受洗、按手、初聖、結婚及び教父母名、家族名、移動教會名、牧師證明欄、其他必要事項記入表）

大阪聖ヨハネ教會牧師　柳原貞次郎著

最新刊

基督教讀本

四六版　約三百頁　布裝箱入　定價一圓廿錢

信仰篇
第一章　神を識るの途
第二章　父なる神
第三章　イエス・キリスト
第四章　受肉降生（インカーネーション）處女降誕
第五章　キリストの十字架
第六章　キリストの復活
第七章　キリストの昇天
第八章　キリストの再臨と審判
第九章　聖靈
第十章　三位一體
第十一章　キリストの教會
第十二章　聖徒の交通
第十三章　罪と罪の赦免
第十四章　永遠の生命と身體の復活

道德篇
第十五章　罪惡に對する基督者の態度
第十六章　神に對する基督者の義務
第十七章　隣人に對する基督者の義務

禮拜篇
第十八章　祈禱
第十九章　公禱（共同禮拜）
第二十章　主禱大意

聖公會篇
第二十一章　聖公會の由來
第二十二章　聖公會の聖書並に信經
第二十三章　聖公會の聖職
第二十四章　聖公會と聖奠
（附）信徒按手式

近刊豫告

譜附名曲撰集

降誕日の歌

歐洲に古くから傳へられたクリスマスの名曲十五篇を集む

四六版裝　定價三十錢

最新刊

クラーク博士著　細貝貞子譯　補松井監督序

少年少女　祈の栞

菊半截美裝　定價金二十錢

小供の爲の自由祈禱

祈は靈魂の呼吸！祈は靈の發育要素！伸び行く小供の靈に糧を與へよ！可憐な口が正しく祈り得るが如く訓練せよ！原著は現時英國教界の名士クラーク博士の熟筆で、英國少年少女間には好評嘖々たるものである。今回更に細貝女史が日本の小供達にも適する樣に、取捨添削の自由翻譯を試みられたものである。少年少女に對する最上のプレゼント！

最新刊

神學博士ヒウ・ゼ・コオス著　吉田菊太郎譯

コリント後書註解

四六判布裝　定價一圓三十錢

碩學コオス監督の聖書註解に對しては世既に定評がある。敬虔眞摯の態度を以て聖書に臨め！聖書は永遠の生命に入る門であり、眞理の寶庫である。而して本書こそはコリント前書と共に新約中に輝く雙璧として稱讚されて居る著作である。

發賣元　東京市麻布區材木町二四
振替東京四一七四〇
聖公會出版社

取扱所　東京府下池袋　聖山莊

全國基督教書店取次販賣

圖書目錄申込次第進呈（賣切の際は直接本社へ）

昭和七年度　立教大學學生徒募集

入學案內

一、募集人員

一、文科　第一學年　壹百名
一、商科　第一學年　壹百五十名

一、入學資格

一、中學校第四學年修了者
二、高等學校尋常科修了者
三、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定合格者、
四、高等學校高等科入學資格試驗合格者
五、一般專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定セラレタル者（實業學校卒業者ヲ含ム）

一、出願手續

入學志願者ハ左記書類及ビ物件ヲ三月三十一日（木曜日）マデニ本大學事務所ニ提出シ檢定票ヲ受ケ取ラルベシ

但郵送出願書ニシテ檢定票送附ノ場合試驗期日ニ間ニ合ハズト認メタルモノハ本大學事務所ニテ試驗前之ヲ交付ス

（郵送ニ依ル場合ハ書留トシ封書ニ入學志願書ト必ズ表記スベシ）

一、入學志願票（本大學交附ノ用紙ニ記入スベシ）
二、最終學年ノ學業成績證明書（修了又ハ卒業セザルモノハ其ノ見込證明書）
三、出身學校長ノ素行證明書（嚴封ノマヽ）
四、體格檢查票（本大學交附ノ用紙ニ記入スベシ）
五、最近撮影寫眞（手札形半身脫帽ノモノヲ志願票Bニ貼付スベシ）
六、檢定料金五圓

一、試驗及び發表

一、學科試驗期日及科目
四月六日（水曜日）
同　午前九時―同十時　數學（代數）
同　午前十時三十分―十一時三十分　國語（解釋）
同　午後一時―同二時四十分　英語（英文國譯・國文英譯）

一、口頭試問
以上中學四學年修了程度ヲ以テ行フ
四月七日（木曜日）午前九時ヨリ口頭試問ヲ行フ

一、發表
學科試驗及口頭試問ニ合格シタル者ヲ合格者トシ四月九日（土曜日）午後一時本大學內ニ發表ス

一、入學手續

合格者ハ四月十三日（水曜日）午後三時マデニ左記ノ書類及物件ヲ本大學事務所ニ提出シ入學ノ手續ヲ爲スベシ、若シ右期間內ニ入學手續ヲ爲サザルトキハ合格ヲ無効トス

一、在學證書（本大學交附ノ用紙ニ所定事項ヲ記入セルモノ）
二、修了見込又ハ卒業見込證明書提出者ハ其ノ修了又ハ卒業證明書
三、戶籍謄本
四、入學金五圓及第一期分授業料其他合計金五十七圓

一、學費

一、授業料年額百圓（第一期　卅六圓　第二期　卅六圓　第三期　廿八圓）
一、校費　年額拾壹圓
一、學友會費年額拾六圓五十錢（第一期　六圓　第二期　六圓　第三期　四圓五十錢）
一、教練費　金五圓　圖書館費　金三圓
合計　金百三十五圓五十錢

一、特典

一、中等教員無試驗檢定
（一）文學部
英文學科ニ在リテハ英語
哲學科ニ在リテハ修身
史學科ニ在リテハ歷史
（二）經濟學部
商學科ニ在リテハ商業、簿記、英語
經濟學科ニ在リテハ法制經濟、英語
一、高等教員無試驗檢定
（一）文學部
英文學科ニ在リテハ英語
哲學科ニ在リテハ哲學概說、心理及論理（申請中）
史學科ニ在リテハ國史、東洋史
（二）經濟學部　法制經濟（申請中）
一、計理士
經濟學部卒業者ハ計理士法第三條ニ依リ無試驗登錄ノ資格ヲ有ス
一、豫科卒業者ハ高等試驗令第八條ニヨリ豫備試驗免除ノ特典ヲ有ス、又英語成績優良ナル者ハ英語ノ中等教員無試驗檢定ヲ受ク
一、本大學々生ハ兵役法第四十一條ニヨリ其在學中豫科ニ在リテハ滿二十五歲迄、學部ニ在リテハ滿二十七歲迄徵集ヲ延期セラル

總長　ドクター・オブ・レッタース、ドクター・オブ・デヴィニティー　C・S・ライフスナイダー
學長　ドクター・オブ・フイロソフィー、ドクター・オブ・セオロヂー　杉浦貞次郎
經濟學部長　ドクター・オブ・ローズ　木村重治
文學部長　マスター・オブ・アーツ、ドクター・オブ・フイロソフィー　小島茂雄
豫科長　文學士　小林秀雄

豫科文科

學科目	第一學年	第二學年	第三學年
倫理	一	一	一
國語、漢文	四	四	四
英語	一二	一〇	八
第二外國語（獨又ハ佛）	四	四	四
歷史	三	三	三
高等數學	三	二	二
自然科學	二	二	二
論理學		二	二
心理學			
經濟原論		二	二
法學通論			
哲學概論			二
體操	三	二	二
計	三二	三二	三二
選擇科目　希臘語		二	二

豫科商科

學科目	第一學年	第二學年	第三學年
倫理	一	一	一
國語、漢文	四	二	二
英語	一二	一〇	八
第二外國語（獨又ハ佛）	四	四	四
歷史	三	三	三
高等數學	三	二	二
自然科學	二	二	二
論理學		二	
心理學			
商業通論		二	二
經濟原論			
法學通論			二
簿記		二	二
體操	三	二	二
計	三二	三二	三二

（本表ノ外一學年間四日以上ノ野外演習ヲ課ス）（第二外國語ハ入學後變更スルヲ得ス）

文學部

一、文學部ノ必修科目、選擇科目、其ノ配當及每週授業時左ノ如シ

一、英文學科

必修科目	第一學年	第二學年	第三學年
文學概論	概論三	概論三	
言語學			
英語學	文法三	發音三	語源三
英文學	小說三	詩歌三	劇曲三
英文學史	三	三	三
近世歐洲文學			三
拉甸語	二	二	二
獨又ハ佛語	四	四	四

選擇科目	第一學年	第二學年	第三學年
哲學	概論二	二	二
哲學史（東洋又ハ西洋）	二	二	二
美學	二	二	二
心理學	二	二	二
倫理學	二	二	二
希臘語	二	二	二
梵語	初步二	二	二
撒遜英語	初步二	二	二
實用英語	作文會話四	作文會話四	作文會話四
教育學			概說三　教育史三

哲學科（哲トアルハ哲學專攻志望者、心トアルハ心理學專攻志望者ノ履修スベキモノナリ）

必修科目	第一學年	第二學年	第三學年
哲學	概論三（心哲）	認識論三（哲）	形而上學三（哲）
西洋哲學史	古代三（哲）	近世三（哲、心）	現代三　演習二（哲）
東洋哲學史	印度三（哲）	支那三（哲）	儒教史三（哲）
心理學	概論三（心哲）	現代の心理學三（心）　實驗演習三（心）	發達心理學三（心）　特殊演習二（心）
倫理學	概論三（心哲）		
論理學		高等論理學三（心）	
美學		概論三（哲）	
宗教學	概論三（心哲）		
社會學		概論三（哲、心）	
語學（英、獨、佛）	四（心哲）	同上三（哲、心）	同上四（哲、心）

選擇科目	第一學年	第二學年	第三學年
教育學	概說三（心哲）	教育史　教授論三（哲、心）	實驗教育學及教育心理學二（心）
哲學			形而上學三（心）
心理學		現代心理學　實驗演習三　三（哲）	發達心理學三（心）　特殊演習二（哲）
西洋哲學	古代三（心）	近世三（心）	現代三（心）
東洋哲學	印度三（心）	支那三（心）	
史學、倫理學、美學、言語學、宗教學、文學、法學、政治學、經濟學	概說、概說、通論、原論、原論　各二（心）	東洋倫理、美學概論、概說、宗教史　三（哲、心）、三（心）、三（心）、三（哲）	西洋倫理三（哲、心）　美術史三（哲、心）
拉甸語	二（心哲）	同上二（哲、心）	同上二（哲、心）
希臘語	二（心哲）	同上二（哲、心）	同上二（哲、心）
漢文	二（心哲）	同上二（哲、心）	同上二（哲、心）

一、宗教學科

必修科目	第一學年	第二學年	第三學年
宗教學	三		
宗教史		三	三
基督教經典	三	三	三
猶太教經典	三	三	三
基督教史	三	三	三
日本宗教史	三	三	三
希臘語	二	二	二
希伯來語	二	二	二

選擇科目	第一學年	第二學年	第三學年
宗教學		宗教史三	宗教哲學三
佛教又ハ其他諸家經典學、其他小宗教史、回教史	二	二	二
哲學史	二	二	二
哲學	三	三	三
倫理學	三		
心理學	二	二	二
社會學		二	二
教育學	教育史	三	三
英語	四	四	四
獨逸語	四	四	四
佛蘭西語	四	四	四
拉甸語	二	二	二

一、史學科

必修科目	第一學年	第二學年	第三學年
史學	三		
地理學	三		
國史	三	三	三
東洋史	三	三	三
西洋史	三	三	三
最近世史		三	三
歷史哲學			三
考古學			
社會學			
民法			
語學（英、獨、佛）	四	四	四

選擇科目	第一學年	第二學年	第三學年
教育學教育史		三	三
哲學史	三	三	三
宗教史		三	
美術史	三		三
政治史	三		
經濟學	二		
希臘語	二	二	二
拉甸語	二	二	二

經濟學部

一、經濟學部ノ必修科目、選擇科目及每週授業時數左ノ如シ（括弧內ノ數字ハ一學年每週時數ヲ示ス）

一、商學科
必修科目　商學總論（三）　商業算術（三）　銀行及金融（三）　經濟原論（四）　憲法（二）　語學ニ關スルモノ　商業英語（第一學年・第二學年・第三學年）（四）
商業數學　商業政策　財政學　民法（第一學年・第二學年）（四）
保險　貿易　實務　商法（第一學年・第二學年）（四）
選擇科目　國際貿易關係　取引所　商店經營　商業地理　海上保險及共同海損　行政法　勞働法（各二）
物價　國際金融及外國爲替　外國市場及經濟事情　交通政策　工業經濟　民法　手形（各二）
教育學及教育史（第一學年・第二學年）（二）
統計　信託　近世商業史　關稅　刑法　破產法及和議法　國際公法
國際私法（二）　外國語（第一學年・第二學年・第三學年）（四）

一、經濟學科
必修科目　統計學　經濟學史　[illegible]　國際金融及外國爲替　稅關　[illegible]
演習
特殊經濟學　物價及計算　行政法　手形法（各二）
國際私法（二）
國際金融及外國爲替　銀行　行政法　破產法及和議法　信託　會計（各二）
教育學及教育史（第一學年・第二學年）（二）
原價計算　工業經濟　民法　國際公法　外國語（第一學年・第二學年・第三學年）（四）

二、經濟學科
必修科目　經濟原論　統計　貨幣論　經濟政策　憲法（各二）
財政學　保險學　商業史　民法（第一學年・第二學年）（四）
經濟學史　交通　銀行及金融　農業政策　商法（第一學年・第二學年）（四）
選擇科目　取引所　政治學　經濟地理　哲學　民法　國際公法（各二）
經濟原論上ノ特殊問題　國際金融及外國爲替　經濟政策　社會政策　刑法　商法　國際私法（各二）
英語經濟（第一學年・第二學年・第三學年）（四）
日本經濟史（二）
信託　社會　殖民政策　行政法　勞働法　教育學及教育史（各二）
計理（二）

授業料全免に連關して

東北、北海道方面の今回の大凶作に對する救濟運動は、全國民の同情と援護とによつていまや全日本的な運動として都々浦々にまで波及しつゝある。饑饉地出身學生はメガホンを口にし終日街頭に立つて聲をからして郷土への同情基金を集めてゐる。本學當局においてもこれら饑饉地出身學生にしてこの家庭において被害を受け直接學業に影響を來たすものに限り、本人よりの申告によつては實情考査の上充分親切考慮をする相當の期間納入猶豫をする由既に日刊紙が報道するところである實に今回本學當局が全國各大學に率先して取つた凶作地出身學生に對する救濟の擧はひとり本學學生にしてがい地出身者の喜びに止まらず、延いて本學學生大衆の喜びでもある

× ×

凶作地の慘狀はいふまでもない。農業恐慌に見舞はれた今日の我國の農村は目下、至るところにおいて半饑饉の狀態にある。もしわれわれが一歩農村へ足を踏みいれるならば、直にその具體的事實を觀察し得る。經濟恐慌に見舞はれた全國の都市においては、われわれは農村におけると同樣に、あるひはそれ以上に幾多の現實的被害を具體的事實によつて教へられてゐる。あへて中產階級の沒落うんぬん、沒落的危險の到來うんぬんは少くともこゝでは問題外である。けれども、一般的に見て中產階級の生活が漸次低下しつゝあることは否定の出來ない悲劇的現實である。從つて、われわれの學資もまた直接明日への生活には支障を來たさないまでも以前ほど豐かではなく、例へば一昨年より昨年昨年より今年と、年を逐つて父兄から削減されつつある。明かにこれはわれわれの父兄が、今日の恐慌期においてかの好況期と同等、否、むしろそれ以上のわれわれの學資の重壓に苦しみつつあるかを物語る以外の何物でもない。

× ×

授業料值下げの聲は從來しばしば叫ばれた。が、この聲は一部左翼學生の扇動とのみ當局は受取り勝ちの憾が多分にあつた。しかし社會的經濟的情勢は一刻も停頓することを知らない。そしていまや授業料值下の聲は眞面目なる學生大衆の眞實の叫びとなりつつある。さきに凶作地出身學生のためこれが救濟の英斷を各大學に先べんして敢行した理解ある本學當局は、以上の如き經濟的必迫の下にあつて勉學を續けてゐる一般學生の授業料值下要求の聲を熟考されんことを切願する。

就職運動への期待

いよく深刻化し、尖銳化して來た恐慌りの實社會の眞たゞ中に、我々は今、我々の敬愛する百名の卒業生をおくらんとしてゐる、不況の嵐は農村といはず都會といはず學府にその活動範圍をせばめたるにもかゝわらず逆に一年前、二年前、三年前より入學者の數は增加し從つて、卒業生の數も比例して增へてゐるのである、過飽和狀態におかれてゐる現段階の社會の中に、然も條件のいゝ職を求める事は難中の難である事は確である、各大學高等專門學校においては各々その「人事課」あるひはそれの機關を通じて卒業生の就職運動におい日もない有樣で本學のそれも人事課を始めとして、新卒業生の就職のために不眠不休大車輪の回轉するが如き多忙を極めてゐるのである

▽　△

一方學生側について見てもいはゆる「就職やつれ」なる語の流行を見る位まで眞劍な運動振で、職の種類は問はない何でもありさへすればかぢりつかう、確固たる職場を持ちたいといふのは一體何を物語るのであらうか、働きたくても働き場所のないまでに狀勢は必迫して街頭には溢れる產業豫備軍だからした中にせめて一の職場を有する事は如何に力強いものであるかといふ事はいふまでもない「溺れんとするものはワラでも摑」といふが事實、各學生一般の就職先を見て、近來一流より二流へ、三流へと轉じて來たそして銀行、會社等々より保險會社へしかも外交へと定まる率が割合に多いのはこれ等の事情をもつとも具體的に證明してゐるものである、某官立大學においても經濟及び商科の卒業生の三分の二が保險會社の外交員に甘んじてゐるといふ事實は、これが現在でもつとも人員を用し、かつ就職の平易な事から可能性の多いといふためで決して自分自身にとつては滿足すべき職ではないのである

▽　△

幸ひ、本學における各方面の運動よろしきを得て、年々他學校に比して優秀なる就職先を占めてゐる事はよろこびとしなければならない、本年度のこの運動も關係者一同の限りなき努力によりヨリよき就職を得られん事を期待してやまないものである

切符反對の氣勢全く平穩に歸す

學友會各部主催の映畫會開催の日愈々近し

昨秋の本學對同志社大學兩學友會主催の競技會大會は降雨のため各部五十圓宛出せる九百五十圓のねん出の見込みの解決を殘して無事終了した事は當時の本紙詳報の如くであるが同會終了後學友會委員會においてこれが補塡策を協議の結果別項の如く漸く學友會主催の下に映畫會を計畫し今春二月これを決行するといふ事に一決した、然して今學期當初の委員會においていよいよこれが具體策の決定を見るに至つたものである、即ち、來る十四日午後五時半より日比谷公會堂において「映畫・舞踊・漫談の夕」を開催し、**九百五十圓及同會費用千二百圓の合計二千百五十圓を得るべく、**然して殘余を七年度の學友會發展のために同志社大學との對抗競技大會に當てるべき主旨の下に同會の一枚一圓の切符を學友會十九部が二百枚あて分擔し、百二十枚を責任額として賣りさばく事に決定し、**各部においては所屬部員は一名當り三枚乃至六枚が責任額となつて現はれるやこれが反對の聲を釀發せしめ**たが今や了解なつて平穩に歸し學友會委員會もこれに對して何等の對策も凝らす事なくして修まり當日の盛大裏に擧行されるのを待つのみとなつた

學友會各部主催で

「映畫・舞踊・漫談の夕」

昨秋の本學對同志社大學兩學友會主催の對抗競技大會後、計畫された映畫會は今學期當初の學友會委員會において次の如く決定した、即ち來る二月十四日(日)午後五時半より日比谷公會堂において開催するプログラムは、映畫滿洲事變ニユース(二卷)二、漫談、大辻司郎、三、映畫喜劇(三卷)說明大辻司郎、四舞踊(四種)岡田嘉子五、映畫トーキー日本版、間諜X27(十卷)である 因に最初同會は學友會主催としたが後學友會各部主催に改めた

學年試驗

本學期各學年試驗期日は左の如く決定を見た、即ち豫科一、二年は三月十七日より三日間、豫科三年は三月七日より九日までの三日間、學部一、二年は三月十日、十一日の二日間學部三年の卒業試驗は二月二十二日より二十九日までの七日間で、中でも學部三年諸君は過去十數年間の學窓生活に別るゝ最後の試驗であり、豫三諸君にとつては待望した角帽へと進むべく各々この試驗に不安と期待をかける事となる

卒業論文提出期日迫る

文學部は皆無

本年度の卒業論文提出は二月十五日で〆切であるが今の所では商科の人達の十五名ばかりが提出したのみで文科の方はネタがデリケートなためか未に提出した者が無い例年の事ではあるが整理上教務課ではやきもきしてゐる、去る四日までに提出せる論題および氏名は左の通りである

商學科▲月賦賣制度、浮田吾夫▲滿蒙の農業經營、馬場貫▲婦人論構成過程、平山精一▲札差の研究、猪狩壯介▲英米投資信託の發達、岸田勝太郎▲農政改革の經濟學的批判、佐野清▲日銀證券制度改正問題、宮坂三郎▲企業大經營化の經濟的考察、島田利三郎▲日支關稅協定と對支輸出貿易、曾我眞美▲投資信託の研究、手島本雄▲生命保險事業の將來、續利獎▲手形取扱上の強意及び手形關係者の責任、出井北彦▲百姓一揆の直接原因、若林英太郎▲不渡手形の研究、關戶穣

總務部から當番部制へ

學友會事務執行機關變る

第一回對同志社學友會對抗競技大會を契機として角、蹴、庭、新の四部によつて結成された學友會總務部は上記四部より各一名づゝ選出された總務委員によつて大會後も引續き學友會事務の實際的執行機關の觀があつたが、今學期初頭の學友會委員會によつて總務部存續の可否が問題となり一委員は總務部執行制が從來停頓し勝ちな學友會事務を比較的圓滑に處理しつゝあるを擧げがい執行制を存續せしむべく提議し大勢これに傾聽するの傾向を見せたがたまたま從來の學友會執行機關としての當番部と新設の總務部との關係が重複することを一委員が指摘してがい案に反對し折ちう案として新規定による當番部が可決され、角、ア式、野、籠の五部が今年度の當番部として選出された、因みに新規定によれば運動、文化よりなる十九部の學友會公認團體の五部を擧げて任期一ケ年の當番部とし、次年には殘部十四團體より運動、文化の差別なく五部を擧げてこれにあたらしめ、大體三年又は四年に一回は必ず當番部として學友會の執行機關として參與するはずである

學園風景

就職は就食だ……四つ五錢の勞研マンヂュウで我慢しろといつたつて、その五錢も仲々大事な金だ「一錢を笑ふ者は一錢に苦しむ」とは何とピンとくる

× ×

定まつたか？　まだ……これこそ學年末卒業期を目前に控へた彼等の合言葉だ、日頃の芝生哲學も、就職會議に變つた、勇敢なれ、男の子よ、歎くなかれ卒業生諸君、難局打開の合かぎは君等の手中にあるのだ

× ×

涙が出るのは悲しいためではない、命をかけて奮斗する兄弟達の感激の涙だ、日每夜每に寄さめて行くのは、インテリの青白さではない勞働のためだ、

× ×

卒業論文も出來た、さあ就職だけは自分の力でやれ……

和やかなる春の陽光を受けて……話ははづんだ、それからそれへと……就職だ、就食だ、

× ×

人事課も大車輪の多忙さだ、百パーセントの就職率を目ざしてさても學年末は多事多端。

依賴の圖書續々到着

近く充實する圖書館書

昨年十一月廿七日ポール・ラッシュ教授よりクリスマス、プレゼントと同教授の在米親友及知人である一千名あてに圖書寄贈の依賴狀を發送したが本年一月二十日頃より到着し今日までに十二名よりの手紙とともに三十四五冊の英文學研究書か本學圖書館に到着、スパクマン圖書館長及濱田館員は整理のプランを立ててゐるが今回の依賴狀をだした一千名のうち約三分二の六七百名よりは引續き送られる見込である、尙每年このクリスマス、アピールを送り寄贈依賴をこふ豫定であるが今回ラッシュ教授あての通信には西部某銀行家より一個人にて五百冊の本を漸次に送るとの返信があり豫定を遙に超過し一部學生間に非常な期待を懸げられてゐる

自由を標榜して新立教文學發刊

學校當局の監督を離れ先輩等の同人制で

現在本學院より發刊されてゐる出版物は史學會の「史苑」經濟學會の「經濟學會々報」雜誌部の「立教文學」英文學會の「英米文學」哲學會の「哲學と心理」等であるがこれらも近來次第に經濟問題や種々なる客觀的事情のため不活發になり勝ちであり讀者も單に本學生にのみ限られて居るやうな狀態であることれがため雜誌部では部員等の意志に反して行く傾向に滿足せず眞に自由な作品を掲載してより力強き充實した雜誌「新立教文學」を先輩、學生等を集めた同人組織で當局より一切を離れて自由主義的な立場から「新早稻田文學」「新三田派」の如きものを發刊せんと計畫され具體化されて居る生氣に滿ち更新の意氣に溢れた「新立教文學」の出現はやがて本學の木鐸となるであらう

興味を呼ぶ血液型檢査

盛大に終つた心理學實驗

第二回心理學實驗公開は去る二十一日より二十三日まで三日間校友會館の心理學實驗室で新たに購入した器具の公開を兼ねて牛島教授指導の下に正午より午後一時半まで實驗を行つた今回の血液型の檢査は一般學生から非常な興味を呼び三日間とも四時まで延ばしてもまだ學生を斷り切れない有樣で血液型の檢査とともに向性檢查、音聲記錄、視野計、測斷計、ウンド壓秤等で、自分の性格、性質を分析し適當なる職業の選擇の參考になるので第一回に勝る大成功であつた

警鐘

投稿歡迎　姓名明記のこと但し匿名隨意

立教に作家なし！

僕等の文學的發展を期するためには如何なる事があつても、少くとも每月確實に發行される、僕等の機關雜誌を持ちたいものである。一年に五回位の賴りない發行で、それも原稿が檢閱を通らないとか、經濟的の缺陷とかで、それさへも期待されないといふ現狀は實際、お話にならない。省りみて、他の大學を見れば、慶應に、水上瀧太郎リーダーとなり確固たる理論と作品を集める三田文學を持つてをり、又同志社文學も今や關西における相當の地位を占めてをり、昔と形態は變つたけれど、早稻田に、新早稻田文學再興してその新進振りを期待されてをり、明治に駿台文學あり、皆それぐ學校當局の支持と學生の熱心なる研究心とによつて、每月發行されてゐる。

× ×

作品にしろ、評論にしろ　教授の眞面目な援助を受けて豐富なスタツフを作つてゐる他各大學の機關雜誌の發展に比較して本學の僕等の立教文學はなんとみじめではないか。僕が今手に持つてゐる立教文學を見るに教授の親切な言はただの一頁さへも見る事は出來ない。僅に座談會的に洒落的な言句を二、三の教授が語つてゐるに過ぎない。もつとも僕等の機關雜誌であるから、もちろん、僕等の力によつて作らねばならないのである。實際、現今の立教の學生は余りに文學に對する視野が狹過ぎる、又文學に對する態度が冷淡で、しはないだらうか、もつともつと深甚な注意を持たなければならないのではなからうか。であるから學校の機關が嚴しいばかりではない矢張り、僕等の態度が、熱が、足らないのだ。

× ×

友人達から「立教にはなんか發表機關があるのかい」と聞かれて返辭に困つた事がたびたびあつた。くどくと愚痴をいつたが、つまる所は學校當局の親切な援助と、教授の指導と學生大衆の支持する自由な權威ある機關雜誌を每月必ずだしてもらひたいものだ。僕等、文學を愛するものは發表機關の不確立な事程さびしい事はないのである。

—四十谷生—

後藤博士歸航中

來る十二日橫濱入港で

昨春二月「支那佛教のフランス啓蒙思想に及ぼせる影響」を提げてフランス大使館の肝いりでフランス文學博士の學位を得ると同時にフランス各大學に講演旅行中の本學フランス語講師後藤末雄氏は幾多の收穫を修めて去る二十九日マルセイユ出帆のフランス汽船で歸朝の途に向つたが、同汽船は來る三月十二日橫濱入港の豫定である、尙新學年より同氏の代理講師非山講師は後藤博士歸學と同時に辭任される事となつた

豫科の教科書は全部英語に變更

—新學期から實施さる

昨年八月七日付をもつて正式に本學の財團法人制が認可され、それと同時に今般豫科の學則の一部が變更されて、文科、商科のいづれの科の教科書は總て英文のものを使用する事になつた、これは來る新學期より實施して、英語で定評のある立教の內容を益々充實させるべく、豫科生の間から橫文字を使用してガツチリとたゝきあげやうといふのである、これによつて往年の築地時代の立教が再現するだらうと、各方面から期待されてゐる

獨、佛文科の設立要求の聲起る

經費難で流產か

待ちこがれてゐる醫學部設立運動はかけ聲ばかりでいつの事やらわからないが、最近また文科の學生間には、醫科の樣に金のかゝらないそして又設立するとしても費用のあまりいらない、フランス文科とドイツ文科を設立しろ、といふ聲がある

立教は元來英語では誇つてもいゝのであるがしかし、フランス語、ドイツ語の方だつて決して他の學校と比べて劣つてゐないし殊に教授の顏ぶれを見てもフランス語の方では、丸山教授を初めとして新進氣銳の少壯教授等で斷然抑へてゐるし、ドイツ語の方では東高の石川教授一高の三浦教授を筆頭にして文學ものを得意とする番匠谷教授等で、開講すれば、いゝ教授の招聘は大して苦勞の事でもないので立教もこの際文科系統の講座をもつと充實させなくてはならない

と某學生は語つた、これについて小島文學部長は次の如く語つた

佛文科にしてもドイツ文科にしても新設する事については別に異議はなく寧ろ贊成であるが、然し、一講座を新設するのに約五六萬圓の費用がかゝる

自分としてものであるが現在の立教としてはその費用の出所がないので、さう學生が要求してゐるから直ぐ新設するわけには行かないので目下の自分の考へでは今の講座だけでも、もつと充實したい、日本の樣に官立學校がいゝとされてゐるところではどうしても私立學校は、その同一主義主張の學校同志で結束して綜合的なものにならなくては官立のそれに對抗して行かれない、佛文科、ドイツ文科を設けるとしたらもつと具體的な案を立てなくてはいけない、文科の學生としては醫科よりも文科の講座を新設してもらひたいのは當然の事であらう

佛語の丸山教授軍縮會議へ

得意の佛劇を教へる後任の本庄氏

學部フランス語の丸山教授は本學ならびに陸軍大學の教授を兼てゐる關係からこのたびの軍縮會議に一般代表として出席する佐藤全權の隨員としてジェネーヴへ行く事となつた、しかして同期間中の後任教授には昨春フランス研究を重ねてフランスから歸朝した本庄桂介氏と決定した、同教授は學內の佛劇研究高揚のために佛劇の教科書を使用すべく文學部長にも了解を受けたが無味かんさうな教科書よりは遙によいと一般學生まで期待を以て望んでゐる

村榮一

ラ夫人杯は草間君へ

英語雄弁會で

昭和四年ラ總長夫人により寄贈されたラ總長夫人カップ爭奪英語雄辯大會は今年度で四回目で去る三日午後三時より二十四番教室で開かれた弁士は八名で審査員にはフート・スコット・スミスその他の外人教授が選ばれ採點の結果名譽あるカップ受領者は草間榮和(本一)君で入賞者は左の通りである

一、草間榮和(本一)二、安部修二(本三)三、根岸源三郎(豫三)四、渡邊謙雄(本二)五阿部眞伍(豫三)六、大江一吾(豫三)

經濟難の「史苑」

余儀なくクオタリーに

史學會唯一の研究發表機關である雜誌「史苑」は渡邊、岡田、柴田諸教授指導の下に每月一回づゝ發刊され史學生はもちろん一般學生中でも史學に興味を有して居る者から愛讀されて來た現在、都下大學中で史學會から雜誌を發行して居る所は帝大と本學があるのみで一般から多大の期待を「史苑」に懸けられて居たが防止し難き經濟不況の波は史學會に押し寄せて來たため遂に經營難に陷り到底每月一回の發刊を繼續して行く事が出來ずこの歷史ある月刊制を廢して本年よりクオータリーとする事に決定したこれがため一般學生より非常に惜しまれて居る

雄弁大會終る

去る五日

新學期頭初より三教ミッション聯合雄弁大會を擧行して學徒の意氣を示した弁論部は次で昨五日夜內學生雄弁大會「時局批判と討論」に押しかけろ」の宣傳によつて聽衆は續々と押しかけ當日のプログラムは眞に學生大衆の要求するものであつた、閉會の辭を宮原牧男君が述べ次で若き弁士交起つて時局の發展な批判と學生層の任務を絕叫し學生大衆の行方を示して滿堂を熱すると共に科學的野次は盛んに飛んで午後六時松崎君の閉會の辭に盛會裏に終つた

翫右衛門を招聘する

劇研の座談會

劇研究會は、松竹脫退後それに續く猿之助一派の痛切的脫退に遇ひ前進座と改名して歌舞伎の階級性の打破を叫んで滿一ケ年、市村座での記念興行を實現した、しかして同研究會は近日中長十郎と共に前進座を死守してゐる翫右衛門を招聘して、喫茶店セントポール階上に座談會を開催する事となつた

舍監に津久井氏就任

今回新夫人を迎へて東京の舍監の職を辭した金子尙一教授の後任として高松教授ラ總長の推薦により津久井圖書館員が東京の舍監に去る十八日就任した

入營する幹部候補生

幹部候補生として本年入隊する前年度卒業生の氏名は本日まで判明した所左の通りである

▲近步一矢澤俊雄、塚田眞二、北原靜彥、篠原保六、河田惠一、水越誠一、豐田猛夫、川口英雄、永峰唯一▲近步、四川上巖▲近衞野砲兵岡力也▲步、一三浦正▲步三大野賢▲甲府步、四九西塲啓東、加納英三、石井輝男、三木章吉▲宇都宮步五九安田善一郎▲名古屋步六高田銳雄、鈴木清▲仙台騎二金澤清德▲山口步四二香川綾▲久留米步四八松尾哲己▲善通寺工十一松本淳一▲近、工、中

時間空間

×

切符問題も難なく修る。まずこれでうるさい小供を寢かせた態。

×

規則改正で豫科の教科書が橫文字になる。これからは辭書に親しむの候、先生方にはなりませんか？

×

二百余名の新學士、就職の市場には出たが！又々ストップ！

×

寄宿舍の舍生改革案、遂行の曉は和やかな祈りがジヤズに代るだらう。

×

授業料全免の記事でよろこんだ靑森縣の學生、だが學校ではそんな事はいつた覺えはないと、

×

運動部祝勝會盛會りに終了、文藝部も出版祝賀會をせんか、

×

立教六十年史編さんを叫ぶ先輩願獻金を捧げた先輩もある、母校愛の發露や尊し

時計・貴金屬・眼鏡
立大御用　田原時計店
池袋八五五
池袋驛西口前

皆樣の
喫茶とお食事
一九三二年型の
ミカサ
驛茶橫丁

支那料理
銘酒　襃紋正宗
支那酒各種
菊水
豐島師範際
電大塚三〇八五

靴！靴！靴！
靴の御用は是非!!
加藤靴店
池袋豐島師範表通
電話大塚(86)二九三八番

夕・祈の鐘の音に
旅愁は深し武藏野の
園邊によりて若人が
優しく集ふわが　ナポリ
夢に醒いて早春の
ふくらむ胸や若綠
誰がいひそめしオアシスと
こゝ武藏野のわが　ナポリ
ナポリ
喫茶食事
立教通三つ叉

何卒
御卒業論文の原稿用紙及
御卒業のお贈物には
ペナントを
お買上げ下さい
文具喫茶　立教堂

冬はおでんに限る
外御食事各種用意してあります
むさしの屋
立大前通り
コマドリ隣

喫茶
皆樣の御集會塲として
落付いた室を設置致し
ましたどうぞ御利用を
丸太の家
池袋　スミレ　師範橫
支店
東中野　すみれ　驛前

藏書家愛書家の製本致します
製本
海外諸雜誌合本
講座及講義錄合本
字辭書及各古本綴直し
其他一般製本
優美なる金文字押
皆樣の御意に從ひ如何なる製本も致します
御用命の節は一册なり共御一報次第參上致します
優美　堅牢　迅速
絕對責任
市外西巣鴨町池袋一二六五
豐島師範立教大學正門前通
加藤製本所

ミトミ運動具店
池袋師範橫改正通
(淸水湯前)
電話大塚(83)三一八一

御卒業に背廣服は何卒
諸橋洋服店
立教大學前

池袋
月賦
元祖
丸三家具店
池袋西口常盤通入口
電話大塚(86)一八三七

京橋
產婦人科
醫學博士　保坂孝雄
電京(56)三九九六
京橋區木挽町一ノ一四
グランドキネマ隣
省線　有樂町驛下車
市電　銀座二丁目下車

史苑　昭和七年一月號（定價七拾五錢）
論叢
文學博士　津田左右吉……神とミコト
說苑
瀧善成……段錢段米の研究
トレルチ……マルクス辯證法
講座・史料
史學會編……論文要覽・書評
ベルンハイム原著　文學士　小林秀雄譯……史學研究法
文學博士　辻善之助校訂……異國日記
文學士　岡田太郞……民族學の文獻
立教大學史學會

宗教氣分を第一に 寄宿改革の腹案決定

本科を除き豫科生收容を原則として 理想的な寄宿舍にする

一人一部屋、ベットにラッカー、冬には溫かいスチームが通り一般學生からせん望の的となつてゐる寄宿舍も數年前までは神學生に先入權があつてイの一番に神學生が取つた殘りの部屋の幾つかを一般學生の希望者が取つてゐたそのため一時は舍生の大部分が神學生で抑へてゐた事もあつて、寄宿の空氣はいふまでもなく宗教的氣分が濃厚で、さん美歌の聲がほとんど各部屋から聞けたが、最近神學校の方に寄宿舍が新築されてから神學生は全部その方に行く事となり、現在では極少數の豫科の神學生が居るだけで大半は一般學生で占める樣になつた、そのためでもあるまいが、時折部屋から響いてくるものは、厳かな讃美歌ではなく一時は、**淺草** の玉木座か二村定一仕込みのジャズの聲である、朝晩と一日三回のチャペルサービスに出席禮拜する學生も少くなつた往年の華やかな宗教的ふん圍氣はいまだ回復に至らぬのでこれに留意、當局は高松チヤプレンを舍監長に任命し最近また寄宿舍には多大の經驗のある岩佐學生主事課長を寄宿舍顧問として、寄宿舍の一大改革を行ふ事になつた、それはこの四月から新たに寄宿生として入舍を許すものは豫科生に限つて本科生はいれない、從つて寄宿舍に入つて居る事が出來るのは豫科の三年間でその間に現在入つてゐる本科生が逐年卒業してこゝ三年後には理想的な豫科生ばかりで構成された寄宿舍が出來上るので入舍の時に **宣誓** した「チャペルの禮拜に出席する事」も高松チヤプレンが專らこれを指導し、立教特有のクリスチヤンゼントルマンを養成し、名實ともに理想的な寄宿舍を作る事となつた

原則として豫科生を………

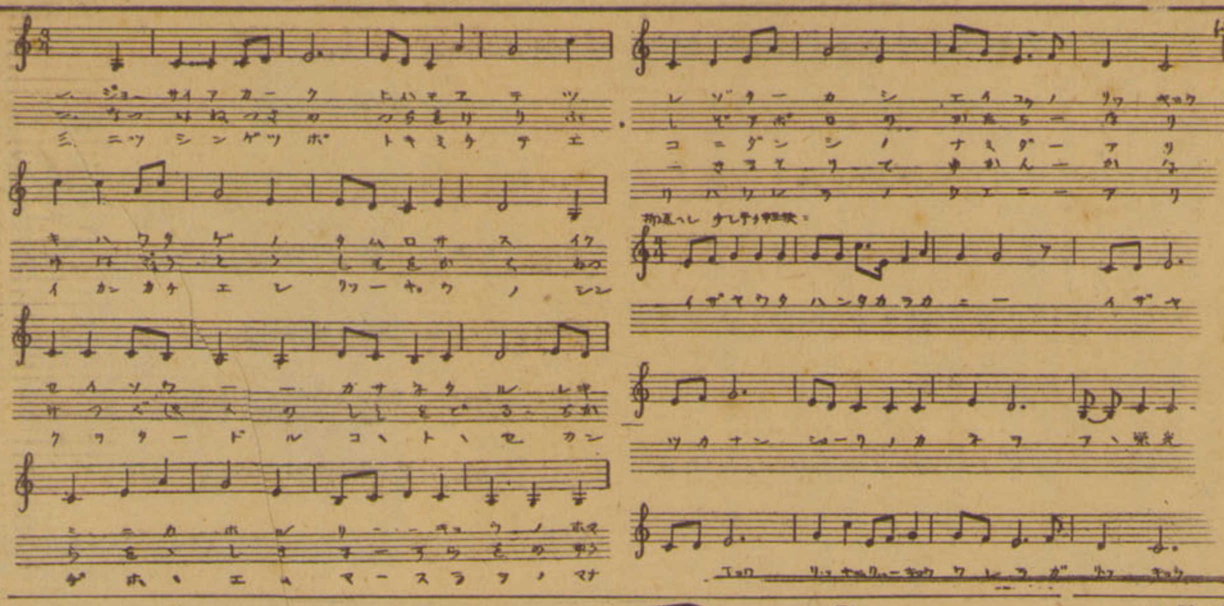
高松舍監長談

今回の寄宿舍改革案についてチヤプレン高松舍監長を訪へば

別に改まつて改革とか何とかいふ程の事ではなく、原則として寄宿舍は豫科生ばかりを收容するのである。外國ではほとんどどこでも豫科生は強制的に寄宿舍に入れる事になつてゐるのであるが、現在の立教ではそうも出來ないのである。禮拜に出席するといふのも強制的ではないんだが、今のところでは極々 **少數** で、限られた人しか出席しない有樣で、これは何とかしたいと思ふ。しかし寄宿生として入る者は必ずクリスチヤンでなければならないといふ事はない、いづれにしても豫科時代から本科を卒業するまで六年間も寄宿に居るといふ事はながすぎると思ふ、幸、今度岩佐先生が顧問として任命されたので理想的な寄宿舍にする事が出來るだらうと語つた

新作應援歌生る

多年の希望でしたと 作者今井氏は語る



立教にはいゝ歌がないといふ事を痛切に感じて燃ゆるが如き母校愛をもつて先輩今井順道氏が作詩作曲に着手した事は既報の通りであつたがこの程完成して發表するまでに至つた健康のあまり勝れない同氏は最近めつきりおとろへを見せて語つた

大分前から作りたいと考へてゐたのですがどうも自分の健康上の事や機會が許さなかつたので不本意ながら今日までに至つたのです。すべての點でまだ自分も滿足出來ないのですが、なつかしい「母校に捧げたのだ」といふ事だけでも吸んで下されば結構です、拙いものですが皆樣の口にのせて戴ければ充分です

尚歌詞は五節まであるが二節以下を省略した

（上、曲譜左歌詞、寫眞は作者）

榮光の立教

一、城西赫く陽は燃えて
月は宴のたむろ射す
幾星霜重ねたる
歷史に薫る立教の
譽ぞ高し榮光の立教
（折返し）
いざや歌はん高らかに
いざや撞なん勝利の鐘を
あゝ榮光の立教、立教、立教
吾等が立教

二、夏は熱砂の土を蹴り
冬は嚴霜を碎く
熱血五尺の肉躍る
力男々しき健兒の
勇姿ぞアポロの像なれ
（折返し）

以下略

鈴木教授記念出版發賣

校內の鈴木ホールでしのばれる本學前々商學部長鈴木一教授が永眠してからこゝに十年歳月を數へるに至り、現在の商學部の生みの親、育ての親ともいはれる人で生前同教授の親しい相談相手であつた久保田富次郎教授等が執筆して、一生を立教のために捧げた尊い奮鬪史を鈴木教授生前の日記や書簡を集め花房正雄、帆足秀三郎、大野信三、吉田甲子太郎、高垣松雄の五氏の厚意によつて編さん出版した現在本學食堂內の一隅にさゝやかな鈴木ホールを寄贈してゐる鈴木教授未亡人を訪へば感慨深げに語つた

今度この本を出版して下さつた五人の方々は鈴木が生前から何くれとなく心配してゐた人達で鈴木が突然死なれてから、子供達の養育費にも困るだらうとこの方々が主になつて色々と奔走して下さつたのです、その後又前に御世話になつた人達に記念出版して御禮をしたらばといふので今度この運びになつたのです鈴木は自分自身では自叙傳の樣なものを書きたかつた樣ですが、それも出來なかつた樣ですそれで止むを得ず今度アメリカに留學してゐた頃の手紙や日記で家に殘つてゐたものを集めてさきの五人の方々にお頼みしたのです、ほんとうに皆樣から御世話になつてをります

尚同書は立教中學內で實費でわかつそうである

立教六十年史編纂

安政年間の長崎時代からを 芙蓉會で腹案を練る

都の西北早稻田、三田山上の慶應を知つてゐても、武藏野原頭に輝く立教の名は天下に早稻田、慶應のそれ如くに有名ではなく、立教大學ての佛教の學校ですか、なんて聞く人もある位である、關西においては同志社大學が獨り有名であるが、早稻田大學の創設者大隈重信侯が、安政年間我が立教の生みの親であるウヰリヤムス氏の塾に出入したのはこの頃である、英語、數學の塾がそもそも今日の一般ミッションスクールの起源でその後切支丹は魔法使ひで恐れられた逆境の時代の中を大阪、東京と轉々として歩み續け明治七年に築地明石町に確固たる現在の我が立教大學の **基礎** をかため大正八年に今の池袋に、エキゾチックな、ゴチク式の赤煉瓦の校舍が落成しこゝに六十余年を數へるのであるが現在その輝ける立教の歷史を知るものは何等なく、多くの先輩達の間には、是非とも「立教六十年史」といふやうなものを編さんしたらばといふ希望があつたのであるが依然として具體的な計畫も見なかつたところが最近芙蓉會（本新聞學館先輩團）が、多年の懸案を練つて「立教六十年年史」を編さんする事になつた、我が立教の創設者であるウヰリヤムス監督の銅像も校庭に建立しやうといふ事でこの兩者が完成の曉には **漠然** とした學園に中心が出來日本文化開化運動のために奮斗して來た立教の歷史が白日の下に明かにされ、世間の立教眼を開く事となるであらう

よく集つた 小型映畫會

去る三十日

小型映畫研究會は去る三十日二十四番教室において第二回作品發表會を開催したが夕刻すでに同教室を埋める盛會さで、發表された新作品は學園ニュース第一輯より六輯まで全三百米、會員個人作品は踏切り、都會の河、初詣で、冬枯れ、一錢蒸氣、島の生活等で、作品はいづれも觀覽者をして驚歎させたが特に島の生活はパテーシネ讃會一等入選だけにもつとも人氣を集め、一般映畫ファンの眞面目なる投書も二十余枚に及んだ

授業料全免記事で 凶作學生動く

學校當局でも對策考究

昨年十二月の暮の東京日日新聞及び讀賣新聞紙上に、本學が都下の各大學にトップを切つて青森縣出身の學生に對して授業料全免を斷行したとの記事が出たがこれを知つた青森縣出身の學生は三學期上京すると同時にその眞偽を學校當局にたゞした所學校當局としてはそんな事をいつた事はなく、全免するなどといふ事も考へてないとの返答で、早速同縣出身の學生は委員を擧げて當局と交涉を重ねてゐる然しまだ何等具體的な結果は得られないが當局としても單に青森縣出身の學生のみでなく、どうしても家の方で拂へない者には **何等** か方法を考へるとの事であるこれについて矢澤會計課長を訪へば

そんな記事が新聞に出たといふ事は今始めて聞く事で、會計課としては決してそんな事を發表した事はない何かの誤報ではないかと思ふ、もちろん我々としても東北地方の窮狀は百も承知で實際同地方出身者に對しては同情してゐる然し授業料全免といふやうな事は今までに例のない事であり會計課の方でそんな重大な問題を取扱ふ事は出來ないが、どうしても拂ふ事が出來ない場合には相當調査をして對策を考へなければならないのであると語つた

★抗議はデモだ！【東大】 レーニン記念日の前日二十日突如赤旗二流を高く揭げて—我々の抗議は斷然デモだ當局へ押かけろ—と叫んでデモる東大生千數百名かけつけた警官五十余名と亂鬪又亂鬪市電も止る騷ぎに三名檢擧さる

★チヤーナルの旗の下に【專修】 文府の方針一決しさきに明治、上智兩大學に新聞學科の設立を見た折からまた又時代の寵兒チヤーナリズムの一角を目ざして專修に新聞學科開講されん

★その後にくる混亂【東商大】 本科會改造問題をめぐつて反目をつゞける二つの商流運動か、はた又藥苑會系支持かいよいよ最後の審判を近く學生大衆の投票にまつて萬事解決—兩派ともにその主張を容かれた場合には會費不納同盟結成で再び混亂か？

★デマは亂れ飛ぶ【東洋大】 先學期末の紛爭交涉問題は一時學長の斡旋におさまつたが校友會評議員は再び前問題に關して「東洋大學學報」を通じ地方校友に自己の立場について陳狀書を發送した

★おしよせる赤い波【大正】 社會狀勢のひつ迫化と共におしよせる赤い波豐山派のメッカ大正大學をおとし、同大學赤色救援會を暴露されて一網七名を御用！

★卒業論文の陳列室【東工大】 螢雪功なつて學生生活最後の總結…卒業論文を同一原稿用紙に書いて本年度第一回卒業生の論文より今後の卒業生の論文がこゝに陳列保存される事になつた

根岸教授はレコードに ラ教授は再渡米し

既報今夏七月、來朝する米國聖アンデレ同胞會一行百六十名の「日本巡禮」のガイドとして本學ラッシュ教授は早ければ今月廿八日遲くとも三月四日には再び米國へ向け出發の豫定であるが、その際昨年十一月聖アンデレ同胞會日本支部の有名を乗てゝ華やかにデビユーした日本聖アンデレ同胞會の會長である根岸教授は近く日ノ本フオーンに彼地同胞會員を迎へる交歡メッセージを吹き込むはずで、ラッシュ教授はこのレコードを携へて米國へ渡り、鄉等の日本巡禮の日を待つ「ウエル・カム」の一彈をはなつ事になつた

野球部渡米

四月七日橫濱出發

既報の如く、本學野球部の渡米問題はその後着々と交渉準備を進めこの程いよいよ決定し、四月七日橫濱出帆の日枝丸で久保田野球部長、マーシャル體育主事、藤田マネチヤー引率の下に出發ゝる事になつたが交歡試抗を主にして本學と關係あるミッションスクールと試合する事となり、在米は五月一杯、尚ハワイには六月末日までの豫定で **歸朝** は七月上旬のはずである、決定したスケヂュールは左の如くである

四月四日橫濱出帆——十六日シヤートル着、二十五日まで滯在
ワシントン大學、邦人チーム各各二回戰
四月二十五日シヤートル發、二十六日バンクーバー着
セントポール關係、邦人チーム各々一回戰
二十八日バンクーバー發、五月一日サンフランシスコ着同五日まで滯在、スタンホード大學、カルホルニヤ大學各々一回戰
五月五日サンフランシスコ發、同七日シカゴ着、同十一日まで滯在、ミシガン大學、シカゴ大學、各々一回戰
五月十一日シカゴ發、同十三日ニユセントスチブン大學、ペンシルバニヤ大學各々一回戰
五月十八日ニユーヨーク發、同十九日オハイヲ着、ケニオン大學、オハイヲ大學各々一回戰
五月廿二日オハイオ發、同廿七日ロスアンゼルス着、三十一日まで滯在
南カルフオニヤ大學、邦人チーム各々一回戰

歸途はロスアンゼルスで開催されるオリンピック大會を見學する豫定である、尚今回渡米する選手は關口主將、辻、中島、三浦、馬淵、岸田、小笠原、木庭、國友、加島、山城、瀬谷、百瀬、畑中、內田の一行十八名である

槍穗高・赤石岳縱走に 驚異的な記錄

積雪を衝いた山岳部

今冬期休暇における山岳部の壯擧は僅々三十名に足りない部員によつて、雪のアルプス踏破のために一行十五名の關スキー場合宿をもつて終つたがその間雪のアルプスに輝かしい二つの處女コースを開いて斯界研究家の多大なる注目を引いた、その一つは老練なアルピニストの間にも問題となつてゐた積雪期における赤石岳縱走でコースを甲州側から聖岳、赤石を經て信州側に下つたものであるが同時にこのコースを目ざした慶應山岳部との間に猛烈なる競爭が演ぜられ僅に一日の差で本學山岳部の上に輝かしい記錄をのこすと共に、又各大學山岳部多年の懸案だつた槍穗高の縱走に向つた堀田、澤本の一行はここでも又早、慶、日大等を始め松高、六高、學習院の各山岳部とぶつつかり僅々九時間の超スピーデーな記錄をもつて走破し各校山岳部員をあつといはすと共に一九三二年の初頭雪の槍穗高に山の凱歌をあげたこれについて酒井君は語る

我々の苦心といふ樣なものは、それこそ凱々たる白雪におほはれた大自然を相手とするだけに人知れぬ骨が折れるもので、この壯擧を決行するまでにもまづ夏に、赤石岳、槍穗高の地理地勢をよく調査して積雪期の登山計畫をたてたわけなんですけれど、それらの計畫は各大學も極秘に秘して發表しませんので同じコースで競爭する樣になるのです、尙一昨年の積雪期にやはり赤石岳を走破したのですがその時は信州側よりコースをとつたのですが今度はその反對側の甲州側から登つて信州側に下つたのです

尚この十一日を前後として再び三班を組織してアルプスに向ふ豫定である

ラ式蹴球 主將決定

更生の道を求めて、根本主將の自發的退部を見るに至つたラグビー部の新主將はバックローの木村君が選ばれ、この新主將統制のもとに今シーズン最後の試合を來る二十七日ＹＣＡＣと行ふことゝなつた

線戰職就

笑も出來ない 逸話のかづかづ

▼俺の行くとこ何處だんべ

就職！就職！この頃の學園のどこをたたいて見ても響くものは就職の音だ、學期末を目前に控へて試驗とか卒業論文とかはどこかへすつ飛んでしまつて、もう卒業したもの、いや就職さへ決まれば卒業出來るものとして寄るとさわると話は就職だ、前ブレのよかつた犬養景氣も何のその依然不景氣の風は新學士候補の彼等のはだに冷い、不景氣だ、不景氣だなんて、不景氣な話は止せといつたところで實際不景氣なんだから仕方がない、口惜しかつたら、おれを就職させてみろ……この男一匹をやさう事も出來ない位世の中は不景氣なんだ、しかしそれでもなほ勇敢に千軍萬馬の間をかけめぐつて、就職熱で眞赤になつてゐる我が學園の男士達の男々しい事よ！それこそ就職線で活躍するシュベイクである、自分にとつては一生を決定する檜舞台なので、假にも重役の否重役のそれらしい人の一言一句もピンピンと身にこたへるのだ

□……□

結婚と就職ばかりは直接自分の事だから人になんか任せては男の顏が立たないといふので、自力本願を決行したK君、一週間寢ないであの手、この手と作戰したあげく目指す某社の牙城を攻めた、結果は至極よく、先輩等も「大丈夫だ八分通り決まつた」と折紙をつけられ、が然安心したK君もそれからは下宿に鄕の子を決めてゐたところ最近狀勢は急變して、どうも見送しを誤つたらしいといふので目下けん土重來の意氣である

□……□

經濟科を卒業するはずになつてゐるT君これも物すごい就職率のある某社を志望して履歴書を淨書する事數十回、買ひ占めの美濃紙もほとんど費して書きあげ、直接社長の手許まで提出したところが、社長も激こん鮮やかな履歴書に感心して（少くともさう見えた）「これは君が書いたのかね」と問はれ、やにはに「えゝさうです」と張り切つて答へたところが社長は側に居た重役らしい人と敵語何事か話し、T君の寫眞にのりをつけその問題になつた履歴書にはりつけて側の籠へポンといれた、これを見屆けたT君手を打つてよろこび「どうもおれは特別だつたらしいぞ……」と語れば同志的な愛情に燃えてゐる同窓の者は「大丈夫、それは採用になつたんだ」と、しかしT君の今日この頃の顏色は幾分變つて來た、何が然らさせるのか

□……□

チャーナリストを志願して一流新聞A社の採用試驗に應じたO君、蹈つての豫告は「駄目だよ」とは一まづの豫想を與へた、色々と出た問題を中心に、「から書いた」「あゝ書いた」とまるで中學校の入學試驗でも受けるに行つて來た樣なもんだ、「それならパリだ、大將通つたよ」と肩をたたいて元氣づけるあたりは流石に叩ける先輩を敬服する一念かららしい。

何處へ行く
銀行か
會社か
遊ぶか

□……□

どこに入りたいといふ希望もなく殖民地でもなんでもいゝところがあつたら飛んで行くといふN君、最近は日頃見た事もない校友會員名簿を引つぱりだして「重役！重役！どこかに重役になつてゐる先輩はないか」とあせつてゐる。懷には既に二三通の推薦狀みたいなものや、紹介狀のやうなものを抱へ込んで、それでもまだ足りないと見えるらしい「おい、何でもいゝから早く就職してくれ、でないとそのオーバーがもらへないぢやないか」と就職をせがむ不實な後輩もある。

□……□

學年末は多事多端だ、試驗と就職に責められる我等が先輩……一人でも決まつたとでもいふうはさを聞いたら、それこそ自分の事も忘れて「お目出とう！」とは一寸早過ぎる言葉だ「かうして景氣でもつけないと、腐つてしまうよ」とは成程、しかし、すぐその次の瞬間に我に返つて見れば何のその海のものとも山のものともつかない有樣だ「どうせおれは陸軍省に定まつてゐるんだ」とうめく者があるとは就職もこいつばかりは「お目出とう！」ともいはれない（村田生）

籠球部主將 岸君に確定

輝かしい三年連續優勝を納めてこの三月卒業する壇主將のあとをついで、榮華四年度の主將はフオワードの岸君に確定した

贊助會員の 西掘氏入營

昭和五年度卒業本學會贊助會員西掘善策氏は去る二月一日甲府市步兵第四十九聯隊第二中隊に入營した

自由槍

◆流石は立教！………

どこへ行つても就職は面白くない、日本人の會社は駄目だ、と奇麗サツパリあきらめてしまつて、斷然外人商社にドイツ人の經營する某商會に單身乘り込んだ經濟科の某君、ドイツ語は立教では相當自信があるんだがそれでも前夜は「獨習ドイツ語日常會話」を勉强してさて當日、面會といふ段になると、支配人が直接面會と事になり、某君全く觀念してしまつた、成績親切なものだと……いよいよ本舞台に入つて支配人と對座して話す事となり、まづ支配人から莊重なドイツ語での話が切りだされ「ヤー、ヤー」と合づちを打つてゐる間はよかつたが、今度は某君が返答する役になつて、突然咽喉から飛びだして來た言葉は意外！まぎれもない英語だ！まつたと思つた時は既に手遲れの形だつた、後でこの事を聞いた彼の同窓の友人いはく「惜しい事をした、英國人のところへ行けばよかつたに……」と、流石は立教だ

社告

本紙一月號は去る二十九日發行の豫定で二十日から編輯を開始したのですが、二十八日に原稿の約三分の二が學生課の檢閱を通らず、時間も切迫したゝめ如何とも手のだし樣がなくなり、やむを得ず一月號は休刊として本日發行する事に致しました、何卒この點を御諒承下され讀者各位の今後とも、よき御後援の程を切望致します

一九三二年二月六日
立教大學新聞學會

味覺の殿堂
江戸趣味
つばめ壽司
池袋常盤道

ふるほんや
古本・和本・洋本
しやれ本・ちん本・等々・
東京・池袋一〇八六
赤春堂

初春の魁け
—斬新なスタイル
安田調髮處
立大グラウンド裏

SPECIAL Service
紅茶◆コーヒー◆ケーキ付
SALON ALPHA

落着いた氣分の好い喫茶寮……
（ベビー圖書文庫設置）
ゼヒドウゾ…………
★毎土曜日特別サービス有り★
喫茶寮
小鳩
池袋仲町南入

毎年流行を先驅するヨシノヤの靴
ヨシノヤ靴店
銀座松坂屋前

誠實信用確實
松坂屋質店
池袋一〇八八
（白馬撞球場前）

尖端的
高級ビリヤード
毎日景品撞球會を行つてゐます
三連勝バット進呈至します
小泉撞球場
昭和湯わき

今度おでん以外に
左のものを始めました
どうぞお試食下さい
定價表
ライスカレー十錢
ハヤシライス十五錢
天丼 十五錢
親子丼 二十錢
牛めし 十錢
立大前通り
あけぼの

上海料理
御晝食は三樂で
電大塚3260
三樂
師範前通り

眼科專門
一般眼疾
視力檢査
整形眼科
診察時間 午前八時より 午後九時まで
東京女醫專 醫學士 新井敏
池袋一〇八五番地（池袋驛より約七分）

原書
新刊圖書
雜誌
林盛堂書店
池袋一、〇三三（常盤通り）
電話大塚(86)三三四三

寫眞は評判のミユキへ

ポーズの自由！
變つた光線！
晝夜同一撮影法！
受驗用就職用寫眞特別勉强
現像、燒付、引伸、迅速、丁寧
一般技術 寫眞撮影
藥品販賣 寫眞材料
ミユキ寫眞店
池袋豐島師範横喫茶横町
立教大學指定各大學御用命
大切の御寫眞はミユキへ是非安く良く安い

金本位停止後の英國財界の現狀

荒木光太郎

金本位制について永き傳統を誇る英國が金本位制を停止したことは世界の人々にとつて正に一の恐異であつた。

さしもの英國が突然かくの如き事態に立ち到つた原因については種々の理由を擧げうるであらう。メイ委員會によつて明かにせられたる如き財政的の行詰まり、戰後殊に最近の國際貸借の惡化、更にはマクミラン委員會によつて指摘せられたるがごとき金融界の不健全なる狀態等々、これ等がそれぞれ重要なる役割をなせることはいふまでもないが、その直接の原因ともいふべきものはオースタリークレデイツト、アンシユタルトの破綻に基きドイツを始め歐洲全般にわたる金融不安に原因する、英國よりの短期資金の回收である。

▼――▲

ロンドンは、その貨幣制度の健全なる事により、又その金の自由市場たる地位により、國際金融の中心市場として、短期、長期の兩資金の吸集するものが多かつた。外國よりの資金が、流入國にとつて經濟發達上重要なる意義をもつことはいふまでもないが、從來金の流出入はそれによつて物價平準を保つことが出來ると考へられてゐたのであつたが、今日では金の流出がある場合には、債務國は一層その信用を失ひ、遂に金本位を離脱しなければならぬ樣になり、斯如くして一般に國際投資を差控へることとなり、漸くこの關係に大變化をきたす樣になつたのである。即ち從來長期に投ぜられてゐたものは、これを機會において回收することあるとも、一般に長期投資を好まず、常に短期資金の形においてこれを保有せんとする傾向の表はれたることである。

これは世界不況による各國經濟狀態の變化が、長期投資を不安たらしめ、短期資金として、その回收に便なる形において保有せんとするにあるのは當然でロンドンにおいても漸く短期資金の形において集積せらるゝものが多額となつて來たのである。しかして又一方歐洲大戰による新興國は、その通貨制度確立のために金爲替本位制をとれるものは、在外資金としてロンドンに短期の資金を保有する傾向があつたために一層、短期資金市場としての特色を發揮することゝなつた。

國際金融中心地としてのロンドンがかくの如き短期資金の增大を見ることは當然のことといひ得るも、近年ロンドンにおける長期、短期資金の均衡の破壞は更に著るしい現象である。

金融並に產業に關する委員會たるマクミラン委員會の報告によれば一九二四年以後七ケ年の國際收支受取勘定は合計五億七千萬ポンドで、これは、英國の對外投資資金たるべきものであるが、同期間における英國の對外投資高は八億二千萬ポンドであり、この不足二億五千萬ポンドは、結局英國にある四、五億の短資より融通せられたるものであつて、これは短期資金の固定化を意味するものであり、英國金融市場の健全なる狀態といふべからざるものである。

ドイツの破綻によつて刺激された各國が英國市場から短資の引あげを開始したのもこの不健全なる事情のためであり、英國が金本位を停止したるもまたこの事情に原因する。

英國の金本位停止の原因が金本位制に內在する欠陷の暴露にあらざると同時に、國際金融の中心地として短期資金をもつことが當然の狀態といふならば、國內事情においてはもちろん、他國の影響によつても突如として回收が行はるる如き世界金融の現狀は、如何なる國といへども、自ら國際金融の中心地たることを念願するは全くこの危險に直面する――を覺悟しなければならない、しかして、その失敗は、本位制度の破壞を當然の結果とするものである。

▼――▲

戰後における金本位制は、その國際的性質を有することを特色とする。即ち金の國際性による對外價値の維持にあるのであるが金本位制が金によつて拘束せらるゝ以上は、一國の金の無意味なる集積は他方必要なる所に金の不足を訴ふる國を生ずるは理の當然であり、現今の金本位制が國際的協調の必要を前提とすることも明かであらう。

然しながら、通貨に關する國際的協調は十九世紀以來失敗の歷史である、がこれは國際間における利害の不一致に據るものであつて、國際協調を排斥したものではない。

現今は全く當時と事情異るものであり、英國は既に金本位を去り通貨に關する國際會議の必要の認識は、スノーデン藏相の議會における金本位停止に關する演説によつて明かであり、又フランスにおいては佛銀總裁ドイツの經濟的破綻に際し通貨安定の世界的協調はドイツと共に進んで賛する所であり、米國は國內における銀行の破綻の續出、[illegible]金融に關する國際的協調に賛成するとも反對する何等の理由なく我國に至つては英國同樣、自國の利害の關する所極めて大なるものにて正に通貨に關する國際協調への條件は充分備はつて居るものといへるのである。

各國民經濟の世界經濟への進出は日進月歩しつゝある時、各國の經濟政策は未だ國民主義の基礎に立ち徒らに高き關税障壁を以つて他國をしや斷せんとするのむじゆんは現在の經濟社會の弊害の生ずる根源である。

英國財界の混とんたる現狀は、財政的建直し、國際收支の均衡等なすべき多くのものを持つものではあるが、局面打開の方法としては國際的協調こそ經濟更生の前提條件でありしかしてこれは同時に他列強の等しく望んで居るところであると信ずる。

（昭和七・一・二十五）

『歐羅巴物語』

菊池重三郎君の新著を讀む

番匠谷英一

ヨーロツパは怪物である。ヨーロツパはあまりに廣くあまりに大きい。汚濁せるヨーロツパ、活動せるヨーロツパ、こう奕せるヨーロツパ、獸せるヨーロツパ――さては歐洲のヨーロツパ、詩のヨーロツパ……我々はこれまで多くのヨーロツパ紀行を持つ。これからも持つであらう。しかしこれだけは確である。菊池君の「ヨーロツパ物語」以上に美しいヨーロツパを持つことは困難であらう。

何といふ氣持の好い書物だ。一本を贈られた時思はず口邊をもれた言葉はこれだつた。氣持よい內容、それに應はしい裝幀――聞くところによれば研究社の上級英語はこの「ヨーロツパ物語」連載のため賣行忽ち數倍に上つた由。自然同書出版旬日ならずして初版三千部を賣りつくしたと聞く。この出版界不景氣にこの賣行！これは詩人な提灯持ではない。確かな筋からの報導である。そして、この書物をひもとく人はその報導の確かであることを認めるであらう。

菊池君は詩人である。菊池君は甲板を、微笑を、霧の都を、車窓をすべて詩の眼で眺める。詩魂がひとりでに形づくられる。菊池君はそれを少しもたくますして文字にして表現した。それが「ヨーロツパ物語」一卷である。菊池君のヨーロツパ、菊池君の詩を愛することを知らぬ人に禍あれ。ヨーロツパ物語はむしろそれらの人にふりかへられることを恥とするであらう。菊池君もそれらの人にこの書物を讀まれることを欲しないにちがひない。

私のもつとも愛する一篇を引用させてもらはう。

◇……◇

「マルセエユにて

伏見丸はジブラルタルへ向つて間もなく出帆しやうとしてゐます。

私は甲板の手すりに凭つて、船の出帆と、マルセエユの市とを見てゐました。

岸壁を見おろすと、男の子供に鳴らないヴアイオリンを彈かせ、側で手風琴を奏つてゐる物ごひの女がゐました。

起重機の聲、告別のあいさつ、港の汽笛、その騷然とした中で彼女と子供とは懸命に流行歌を奏つてゐます。

一曲濟むと私達の甲板に眼を擧げて、子供は裏返した帽子を差し伸べました。

銅貨や白銅が飛びます。暫らくすると彼等は又次のものを奏ります。そしてそれが終ると又子供が帽子を裏返してお辭儀をするのでした。

私の隣の男がかういひました。

「フランスの金を持つてゐたつて先の港では通用しないんだから一層のこと呉れて仕舞へ」と。

さういふお金も飛びました。

船の出帆です。

汽笛が鳴りました。

彼等は歸り仕度を始めました。

遙か丘の頂きのノートル・ダム寺院、その塔に立つ金色の聖母の像が夕陽に燦々と光つてゐました」。

紀行と名づくべくあまりに美しい。詩だ。全篇すつかり詩だ。

◇……◇

菊池君は趣味の人である。菊池君の高雅な純潔な趣味はこの書物の到る所にあふれて居る。挿入の寫眞は全部彼自身の愛するカメラによつて收められたものと聞く。菊池君の藝術心はそれらの寫眞の一枚一枚にも惨み出て居るではないか。「ブルージユの春」は特に私の好きな一篇である。「子供と煙草」も隨分おもしろい。「歸らぬ人」は何といふ感銘の深い一篇だらう。…きりがないからこんな書方はやめる。

ヨーロツパ物語はこれからもどしどし賣れるだらう。また賣れていゝ書物である。何となればその中には永久的なるものが書かれてあるから。中學生がよんでも、大人がよんでも面白い純なセンチメントにふれるものが書かれてあるからだ。諸君が、歸省の際中學校か女學校の上級に在學中の弟妹に一冊の書物を贈る必要があつたら是非このヨーロツパ物語一卷を買ひたまへ。その書物はきつと弟妹の友達からも歡迎されるに違ひないことを私は確保する。

▽……セエヌ河畔の古本屋　ヨーロツパの旅行者のたれしもがかをりふしのセエヌ河畔の散策にしばし足をとどめてときなり素晴しいものを掘だすパリ名物のセエヌ河畔の古本屋のこの頃の風景

ドビユツシイのこと

河盛好藏

最近藤村氏の「エトランゼ」はパリーの客舍に在つた日の僕の愛讀書であるが、あのなかに氏か、河上肇博士を案內して、ドビユツシイの自作演奏會を聽くためにガヴオ音樂堂へ行かれる一節がある。歐洲大戰直前の、まだこの偉大な樂人の生きてゐた頃で、既に二十年以上の昔になる。その夜、彼は「小兒部屋の歌」を自ら彈き、その他二、三の歌曲、及び彼の唯一のげん樂四重奏も演奏されたらしい。さうして西洋音樂を聽くと、きまつて睡くなるといふ河上博士も、その夜だけは大變に感興を催されたといふのである。

ガヴオ音樂堂はガヴオ・ピアノ會社の本店に付屬する、小さいけれど、古風な氣持のいゝサルで、音樂の好きな僕は、幾度となくこの音樂堂に通つて、ドビユツシイのものも澤山に聽いたが、その都度右の一節を憶ひ出して、ドビユツシイの風ぼうに接せられた上、彼のピアノまでを聽かれた藤村氏達をうらやましく思ふのであつた。

◇◆◇

僕のあまり當にならない意見によれば、ドビユツシイの數多い作品のなかではピアノ曲が殊に優れてゐると思ふので、彼自らがピアノに向つて演奏するのを聽けば、定めし教へられるところが多からうと思ふのと、一つには、ピアノ演奏家としてのドビユツシイは、ショパンなぞと違つて、ごく拙かつたといふ傳説の眞僞を確められたらうと思ふからである。ショパンと竝んで、あれほどまでにピアノの有つみ力と機能を知つてゐた彼が、もしピアニストとして素人の域を出なかつたとしたら、それは大變に面白いことではないだらうか。

◇◆◇

今日ではドビユツシイは既に古典である。彼の作品は、ミユツセなぞの十九世紀の浪漫派戯曲の伴奏音樂に盛んに使用されてゐる。が少しも不調和ではない。シネマの伴奏に、彼の「沈める寺」が彈かれたのを耳にしたとすらある。それほど彼の作品は今日では人々の耳に親しいのだ。始めて現はれた時は、あれほど革命的だといはれたのを思ふと不思議な氣がする。

◇◆◇

一九二八年は彼の死後二十年に當るので彼の作品が盛んに演奏された。平素はあまりプログラムに上らない「ペレアスとメリザンド」の如きも、この年の季節にはほとんど毎週のやうにオペラ・コミツクに上演された。僕はいい機會に恵まれたわけである。

ところで僕は決してドビユツシイの信者ではない。殊に彼の管げん樂曲はいまだに解らない。マラルメの詩による、有名な「牧神の午後の前奏曲」は僕にも鑑賞できるが、あの傑作の名の高い「海」の如きは一向に僕には有り難くないのだ。

思ふにこれは、和聲學や對位法について無智で、加ふるに管げん樂發達の歷史をまるで知らないために、ドビユツシイのその方面における著しい才能と努積のみこめない僕の自業自得に相違ないが、例へばベエトオヴエンを聽き、ブラームスを聽き、あるひは、彼が排撃したワグネルを聽いたあとでですら、ドビユツシイの管げん樂曲を聽くと甚だ手頼りない氣のするのは、あながちに僕の音痴のせいばかりではないやうな氣がする。

オーケストレエシヨンの才能、樂器の使ひ方の技巧においては、作曲家として彼の下風に立つ如くいはれてゐるモオリス・ラヴエルの方が斷然すぐれてゐると僕は信じてゐる。

◇◆◇

ドビユツシイ研究家として有名なレオン・ヴラス氏が、ソルボーヌ大學でこの樂人に關する十回講演を試みたとき、彼は結論として「今までドビユツシイを研究した人々は、彼の和聲の方面にのみ沒頭しすぎた。然しドビユツシイは何よりも旋律の作家である。自分は旋律の樂人としての彼の研究を提唱する」といつたのは興味あることではないだらうか。

彼の旋律は豐富ではないかも知れぬ。だが實に新鮮である。然も直ぐに飽くやうな新鮮さではない。聽けば。聽くほど滋味が滲みでてくる。また著しく東洋風であるが、ロシア音樂の一部に在るやうな卑俗な甘さや感傷が少しもない。音樂の音樂といふ氣がするほど純粹である。この點でドビユツシイは最もフランスらしい藝術家である。フランス語の持つ陰影と美しさを歌曲において彼ほど生かした作曲家は他に求め難い。例へば「ペレアス」である。メエテルリンクのあの美しい言葉が、一つの生きものの如く聽く人の心をとらえる。「ペレアス」がドイツ語に翻譯されてベルリンで上演されたとき、非常な失敗を招いたのは當然である。彼の、少くとも歌曲を味はひ、解するためには、何よりもまづフランス語を味到し得なければならぬ。

◇◆◇

マラルメの客間の常連の一人であつた彼は、自らも詩人たらんとする念願を抱いてゐたし、他の象徴派詩人達からも深い影響を受け、また彼等にも影響するところが多かつた。あたかも今日、ジヤン・コクトオが「六人組」作曲家の良き友であるやうに。

晩年のドビユツシイは、十五、六世紀の古詩に作曲することを無上の樂味としたといふ。

思ふに、詩人ドビユツシイの音樂が、十九世紀末より現世紀にかけて、フランスの文學に與へた深い力を、更に進んでは彼の音樂の精神が、如何なる風にフランス的であるかを考へることは、我々に課せられた樂しい題目であるであらう。（寫眞は死の床にあるドビユツシイ）

演劇漫語

本庄桂介

將來の戯曲作家に取つては、從來の演劇論は單なる參考に過ぎないであらう。作家は各自、自らの演劇論を持つべきである。

★

さうして生れた戯曲が、果して脚光を浴びるであらうか。さう思ふ時、劇作家に取つて、これ程さびしい感じはない。けれども……

★

野心ある俳優は、そして興業者は、必ずいつかさういふ作品に目をつけるだらう。日本にもさういふ劇壇の野心家がいつか產れないとは、だれが豫言出來るか！

★

我が戯曲作家に取つて、一つの宿命は、ミユツセの如く、近くはピランデロの如く外國において、始めて評價されるといふことは、今後とも恐らく絶對にないといふことであらう。想ひこゝに至れば、日本で文學を以て身を立てるといふことは、最初から果敢ないことである。

★

日本の劇壇の沈滯する原因の一つは、中劇場の少いことによると思ふ。東京には少くとも各區に一つづゝ、各々その町の特色を持つた劇場があつていゝ。

★

小劇場の使命は、通俗劇場へ何かを殘して行くことである――例へば俳優の技藝の向上とか、新進無名作家の發見とか――然るに日本の小劇場運動は、結果において、この兩者を忘却してゐた。もつとも、それを吸收すべき基礎ある通俗劇團のなかつたことも事實である。ひとり水谷八重子はやゝこれに近き所產であつた。

★

僕にはいまだに日本の觀客層がはつきりしない。それは一面混とんとした世層を反映してゐるが故に、まづ世層の觀察が必要なのではあるまいか。

★

日本の劇場は幕がをりた時、まるで氣の拔けたビールだ。觀客は面白かつたのか面白くなかつたのか譯の分らない顏をして出て行く。「君子は喜憂を色に出さず」。この訓へに從はんには、抑も芝居など、無用の長物かも知れない。

★

サラベルナアルは、晩年追憶していはく「妾か長い間、舞台生活をして來られたのは、毎夜觀客から送られる、あの拍手の音です。あれが無かつたら、妾は翌夜の舞台に立つことが出來たかどうか分りません」どうです！觀客も又名優を產む一助ではありませんか。

★

日本の新派俳優の持つ、大きな欠點の一つは、何んでもその役を自分の狹い見解の型にはめ込んでしまふことである。脚本に描かれた人物は、いつも決してそんな簡單な類型ではない。

★

フランスのある演劇論者はいつた「俳優に取つて、何より大切なことは、彼等の日常生活において、種々樣々な人に會ひ、そして相手の心理、動作を常に注意してゐることだ。その機會は街上にも、電車の中にも、クラブにも、到るところにある」と。俳優の技藝が寫實の極地を以て良しとするフランスなればこそこの言葉がある。

★

演出家が、兼ねて俳優養成者であるといふ場合は、寧ろ異數である。俳優は決して演出家を頼り過ぎてはならない。肝心なことは、自分で工夫することだ。

★

演出家が俳優であり、座長であり、しかも經營者であるといふ例は、自由劇場の創始者アントワンヌ以來、フランス新劇運動の著しい特長であると思ふ。しかも彼等がほとんど一樣に素人出身であつたことは更に面白いことである。コツポオは卅五歳にして俳優の修業をした。「人生は長い」どんな修業でも遲過ぎるといふことはないのだ。素人出でよ！

★

今日もつとも欠乏してゐるものは、よき演劇批評家である。新劇がほとんど上演されぬのであるから批評すべきものなしといへばそれまでゞあるが、それにしても新劇の批評家がなさ過ぎる。

★

今日の批評家の通弊は、余りに常識論に走ることであり、氣兼ねすることである。こゝで氣兼ねといふ意味は、劇場當事者に對する氣兼ねはもちろんであるが、更に批評の對象がほとんど常に歌舞伎を中心としてゐるので、その特殊な故事來歷に對して、自分の通人でないことを暴露するのを氣兼ねしてゐるのである。

★

たからたまたま西洋の芝居が上演されると、何の氣兼ねもなく色々勝手な見解を持ちだす。そして平氣で彼等の人情、習慣を默殺してしまふのである。

★

クロアゼはいつた「我がフランスの演劇は、外國人には分らない。何故なら、フランス演劇の中には、何等異常なるもの、貞節なるもの、あるひは又非常に不義不德なもの、そのいづれも無い。たゞ日常生活中の人物があるのみである」

★

この言葉は昨年數回封切られたフランスのトーキーについてもいへる。あれらの映畫の一場面一場面に、パリと、パリ人士が色濃く描きだされてゐる。が、筋においても演技の上においてもいはゆる劇的なものを見慣れた我が觀客に取つては、食ひ足りない所があるかも知れない。

★

幸か不幸か日本に戀愛劇はない。親子劇、あるひは主從劇といふべきである。これは確に我が演劇の異彩であらう。偶々出てくる男女の新戀愛劇よりは大いに助かる。僕は嘗て日本の戀愛劇に好意を持つたことのないのを誇るものだ。

★

但し、戀愛劇は、例へ藝術的作品でも多少鼻持ちのならないものである。パリの通俗劇場などには、くさくて堪まらないものが多い。にも拘らず面白いのだから、フランス人とは、さくな國民である。

最近の好著

▲危機の神學（ブルンネル著岡田五作譯）一九二八年米國の一神學校においてなせるスワンダー講演として語りしものである。譯者はツイリツヒ大學の神學生、彼においては小著ながらヘルト神學を知るにはもつとも概説的著述である（四六判・二三一頁・一圓二十錢・新生堂）

▲世界經濟の話（松村金助著）日本の財界の成行を知る上に無視することの出來なくなつた世界經濟を手取り早く知らんとするにはあつらへ向きの書だ、金問題の解説ロシア五ケ年計畫もその題目の一つである（四六判・二五二頁・一圓五十錢・森山書店）

▲ドイツ大革命史第一卷（横川次郎・北郷道共譯）事實を事實としてマルクス主義的立場からドイツ革命史をまとめたものが本書である。新しい文化の上に立つたドイツで何故その革命が社會民主主義の勝利――即ち失敗の革命に終つたかを闡明せんとしてゐる（四六判・四一六頁・一圓八十錢・共生閣）

▲歐羅巴物語（菊池重三郎著）著者菊池氏はわが學園の生んだ詩人だ。この詩人が歩んだヨーロッパの都會、村落、森林あるひは湖水等到る所の印象をせん細な感情を通じあたかも滴るが如き潑剌たるペンで描き、これに點在する外國人の情味を美しい言葉に物語つた名著日本圖書館協會の推薦書であるものである（四六判・一圓五十錢・研究社）

▲萠え出づるもの（ゼロムスキ作加藤朝鳥譯）これは豪華無双の戰爭文學だ、滅亡の中に萠え出づる力があつた、祖國の魂が暗黑を貫いて輝いた。ゼロムスキの熱と力は今や日本に彌漫しつゝある、それは情熱の國波蘭から投げつけて來たグローブ式の爽快なる文學だ（四六判・五六〇頁・二圓・東京堂）

▲新ロシア入門（イリーン著安田德太郎譯）本書はソヴエートの小學生に新しいロシアを知らせるために書かれたものだ、從つて平易な文章でかんでふくめる樣にソヴエートの事情が語られてある（四六判・六十錢・鐵塔書院）

寄贈圖書

▼「新聞と社會」一・二月號その社發行・二十五錢

▼「哲學と心理」第三號・本學哲學會發行・二十錢

▼「働く婦人」二月號・文化聯盟發行・二十五錢

▼「國際智識」一月號・國際聯盟發行・四十錢

▼「社會學徒」一月號・その社發行・二十五錢

▼「史苑」第七卷第二號・本學史學會發行・七十五錢

▼「新聞研究所報」週刊・その社發行・一ケ月三圓

▼新聞研究室第一回研究報告書（東京帝大文學部・良書刊行會發行）非賣品

▼鈴木一先生日記及書翰（四六判・三六二頁）立教中學內記念出版委員發行・非賣品

▼現代心と有神思想（ホートン著・高松孝治譯）四六判・一九二頁・一圓・新生堂發行

▼「世界と我等」一月號・國際聯盟協會發行・十錢

▼「新聞聯合」月二回・その社發行・一部五錢

▼「愛國婦人」一月號・その社發行・五錢

先づ節約で
牛鍋會
壹圓
牛肉お替付　清酒二本　お飯　香の物　共
大國

廣告
COCKTAILS
AMATEUR STAND
DAIICHISOGO BLDG
KYOBASHI

學生家業
毎月一日新學期開始
珠算
きつと上手になる
創立明治四拾貳年帝都に唯一の古き歷史を有する珠算の專門學校なり
晝（三時―四時半）
夜（六時―七時半）
ソロバン上手に失業者なし
村田速算學校
神田區中猿樂町　電話九段二二五五番

純喫茶
一度は出て下さいませ
コマドリ
立大裏横通り

御親切をモツトーとして
調理吟味
唯!!　唯!!　學生のために
暖かい雰圍氣の卓子
食事喫茶
鈴木ホール
立大構內食堂

冷靜でゐて溫情のあるシドニーへ
一寸の休憩にも足は自然に家庭的シドニーへ
どうぞ御運びを……!!
余りに永い冬をやつと若い芽を守つて參りました立教の皆樣の御育みにて何時までも可愛らしく御咲かせ下さいます樣!!
シドニー一同

美津濃の靴と文具

朗の樂園
皆樣の撞球場
千變萬化
球の妙味
池袋中原、三七二
立教大學東隣
ビリヤード樂園

教科書
文房具の
御用命は
構內
山崎書店

內科
外科
產科
婦人科
池袋病院
院長　醫學博士　伊東常太郎
醫學博士　江守彌次郎
醫學士　瀨戶正雄
省線　東京池袋驛東口東
市電　大塚辻町下車池袋驛行乘合自動車病院前下車
電話大塚　一〇五三番　一六七七番
（傳染病室完備）

メダル
徽章
カップ
賞牌
立教大學御用
川手徽章製作所
東京市淺草區西三筋町卅一

宴會
喫茶
和食
洋食
米國デパート式大食堂
近代的設備實質的代表食堂
大小宴會御簡單に……
池袋驛前
ミヤマ食堂
電話大塚(86)1678

木馬
池袋喫茶横丁

喫茶と御食事は
おなじみのセントポールへ
（午前十時より午後一時迄はランチの御時間です）
立大前通り
セントポール

材料は常に新鮮！
味覺又優秀！
榮養素質に豐富！
お食事は是非！
立教大學
校內食堂
朝食は七時から辨當、ランチ其他御好みに應じて調理します。
御集會等の茶菓も
何卒……ビクトラの伴奏